

伊奈町版スーパー・シティプロジェクト ～日本一住んでみたいまちを目指して～

概要 コンパクトなまちを目指すため、既存のにぎわい拠点であるバラ園や伊奈氏屋敷跡に加えて、役場新庁舎及び志久駅周辺等に新たなにぎわい拠点を創出する。また、先端技術の活用により、全ての住民と来町者の利便性を高めるとともに、持続可能で災害に強いまちづくりを推進する。

- 課題**
- ・将来的な町の人口減少に備えた対策
 - ・高齡化の進展等に伴う交通弱者への支援
 - ・公共施設の老朽化や耐震性不足
 - ・従来型コミュニティの希薄化
 - ・激甚化する災害に備えた体制の整備

	コンセプト(目的)	目標時期	検討したい取組(施策)	民間企業等の協力を得たい分野・内容
コンパクト	コンパクトなにぎわい拠点の創出とコミュニティの活性化	中期～長期(5～10年)	<ul style="list-style-type: none"> ・役場新庁舎に図書館等の公共施設を集約・複合化し、町のにぎわい拠点を創出する ・学校・病院・企業の立地が進む志久駅周辺等の利便性を向上させ、駅周辺を核としたにぎわい拠点を創出する ・空き家や空き店舗等の流通性を高めて、ワーキングスペースの整備など建物の有効活用を図り、町やコミュニティのにぎわいを創出する 	<ul style="list-style-type: none"> ・新庁舎建設・活用に係る技術提案 ・事業者による営業施設 ・空き家等の活用支援
スマート	先端技術の活用によるスマートなまちづくりの実現	中期～長期(5～10年)	<ul style="list-style-type: none"> ・スマートモビリティの活用により移動手段を充実させて、にぎわい拠点と駅間など、町内での回遊性を高める ・リモート窓口を町の北部と南部に設置し、役場庁舎への来庁が困難な方への相談支援体制の充実を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ・電動シェアサイクル等のスマートモビリティの導入支援 ・リモート窓口の導入支援
レジリエント	災害に強いまちづくりの強化	中期～長期(5～10年)	<ul style="list-style-type: none"> ・役場新庁舎等に太陽光発電や蓄電池、EV等を整備し、災害時でも途絶えない電源を確保する ・気象観測装置や水位計、震度計等に係るGISデータの公開により災害への備えを強化する ・官民連携等の活用により災害情報の発信を充実させる 	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電等の再生可能エネルギーの導入支援 ・災害情報等の発信技術の提供

伊奈町版スーパー・シティプロジェクト ～日本一住んでみたいまちを目指して～

- 役場新庁舎及び志久駅周辺等におけるにぎわい拠点の創出
- 先端技術の活用による持続可能で災害に強いまちづくりの実現

エリア全体

- 【コンパクト】
- ・空き家や空き店舗等の有効活用
- 【スマート】
- ・太陽光発電を利用した電動シェアサイクル等の導入
- 【レジリエント】
- ・気象観測装置等に係るGISデータの活用、災害情報の発信強化(防災情報サービス用屋内型専用端末)



北部・南部エリア

- 【スマート】
- ・リモート窓口の設置



バラ園

中部エリア

- 【コンパクト】
- ・役場新庁舎への公共施設の集約
 - ・志久駅、伊奈中央駅周辺等を核としたにぎわい拠点の創出
- 【レジリエント】
- ・役場新庁舎等における電源確保



地域活性化エリア



伊奈氏屋敷跡

